

# 広報

第106号

発行所 黒崎町役場  
印刷所 小野塚印刷機

## 重点施策

- 生活環境の整備
- 住民福祉の増進

## 4本の柱

- スポーツの振興
- 青少年の健全育成
- 文化施設の充実
- 農・商・工業の振興



昭和五二年度の国家予算は、着実な景気回復と財政の健全化を図ることを基本として、公共事業を中心とした財政面からの景気刺激策と財源の重点的かつ効率的配分を考慮した予算編成がなされており、(一)生活環境の整備と充実、(二)農商工業の振興、(三)教育、スポーツの振興、青少年の健全育成、文化施設の充実、(四)住民福祉の増進を最重点施策として、予算編成に当たったものです。

昭和五二年度の予算編成方針の大要は、各種財政需要が増大する反面、自主財源の大巾な伸びは期待できないので、経常的経費の節約に努め財政配分の重点化をはかり、(一)生活環境の整備と充実、(二)

三月一日から開会された、昭和五二年度一般会計予算などを審議する、三月定期町議会は二四日まで会期一四日間にわたり会議が行われ、町長提出議件三〇件、議員提出一件は、いずれも原案どおり可決、請願二件を採択、陳情一件は継続審議となり、二四日午後一時閉会しました。

<町の動き>	
2月末現在(前月比)	
人口	19,339(+4)
男	9,500(+1)
女	9,839(+3)
世帯数	4,687(-2)
1月	日~末日まで
死出	7
婚	23
	4

和五二年度の施政方針、予算編成方針を延べ、四点の重点施策をかけ、新町政が五二年度へスタートしました。

我が国、経済をめぐる内外情勢は依然として樂觀的許されない厳しい状況にあり、国内においては景気回復の緩慢化、不均衡化が進み深刻化していることは、国家経済と密接な関係にある地方財政にも通ずることであります。

昭和五二年度の予算編成方針の大要は、各種財政需要が増大する反面、自主財源の大巾な伸びは期待できないので、経常的経費の節約に努め財政配分の重点化をはかり、(一)生活環境の整備と充実、(二)

町長 初の定例議会に望み、昭和五二年度の施政方針、予算編成方針を延べ、四点の重点施策をかけ、新町政が五二年度へスタートしました。

町長・初の施政方針へ

対話の町政へ